

## 「寒さに負けないミジンコたち



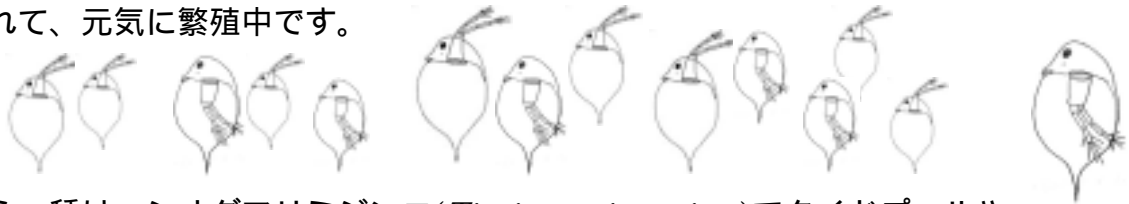
### ～ ミジンコ飼育のススメ～

独立行政法人 水産大学校 生物生産学科  
教授 上野俊士郎

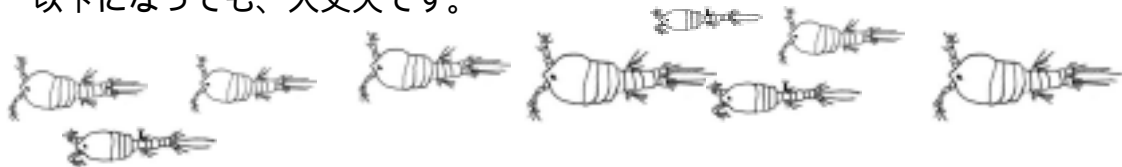
寒波襲来、多くの生物がじっと寒さに耐えている冬ですが、ピコピコと元気に泳ぎている小さな生物が水の中には沢山いるのですよ。今回は、そんなけなげなミジンコの観察と飼育についてお話をします。

### ミジンコってな～に？

ミジンコは「微塵子」と漢字で書きます。本当に小さな塵のようなものなのです。今回紹介するのはダフニアミジンコ (*Daphnia* 属のミジンコの総称) です。溜池などの生息する体長が3mm前後の小さなプランクトンですが、現在屋外の小型水槽で群れて、元気に繁殖中です。



もう一種は、シオダマリミジンコ (*Tigriopus japonicus*) でタイドプールや海水水槽でふつうに生息している体長1mm余りのケンミジンコです。ダフニアミジンコよりも、少し寒さが苦手なので室内で飼っていますが、夜暖房が切れて室温が10以下になっても、大丈夫です。

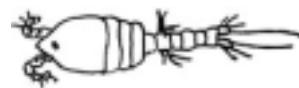


### 飼い方はやさしいのですか？

それが本当に簡単なのです！ ダフニアミジンコの場合は洗面器に川の水を入れて、栄養の素の「発酵鶏糞」をつまんで入れ、光がよく当たる場所に置くことは重要です。シオダマリミジンコの場合は、コップに海水を入れて、金魚の餌をつまんで入れるだけです。

ねっ！ 簡単でしょう。

### 超ミニミニ水族館の出来上がり！



さあ！ 洗面器とコップの水の観察の始まりです。虫眼鏡やルーペがあれば、もっとよく観察できますよ。では、がんばってね！